

ひゃくじゅ



平成29年8月19日（土）大磯幸寿苑

広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

〜〜 経営理念 〜

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。

加齢による心身の衰えは何人も避ける事のできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。

施設をご利用いただく方々には少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い家庭復帰と自立が実現できるよう、最善の努力をして参ります。

医療法人社団 幸寿会 介護老人保健施設 大磯幸寿苑

∞∞∞ コンテンツ ∞∞∞

☆表紙

- ・広報誌「ひゃくじゅ」の由来
- ・経営理念

☆老健マメ知識 老健とは No2

- ・看護統括 藤吉訓子

☆花火

☆職員紹介

- ・介護統括主任 佐藤 亮
- ・看護師 中村直子
- ・デイケア 中島恵里奈

☆フォトレポート



隅田川花火大会

看護師長 藤吉訓子

今回は老健で起りやすい急変（肺炎）です。一般的に老健には病状の安定した方が入所しています。ほとんどが高齢者ですから、いつ何が起こってもおかしくありません。

老健で起る急変で多いのは肺炎や骨折です。肺炎の原因はほぼ誤嚥によるもので、通常私たちは誤って器官に食物は唾液が流れ込んででも反射的にむせ込んで外に吐き出すことができます。加齢により嚥下機能が衰えると、むせ込まずに器官に流れ込む（不顕性誤嚥）ため容易に肺炎を引き起こしやすくなります。食事中だけでなく、夜間就寝中にも誤嚥は起こります。摂食状態が悪くなく、唾液量が少ないことでさらに感染リスクは高まります。高齢者は典型的な肺炎症状が現れない事もあります。

食事が減ったり、元気がなくなったり、発熱などの症状が現れたりには要注意です。突然意識レベルが低下し呼吸状態が悪くなるなど重症化することも珍しくありません。次回は骨折についてお話します。

花火

日本の花火は夏の風物詩とされ、一部の自治体では大規模な花火の打ち上げを「〇〇花火大会」と称して行っています。大会の時期は7、8月の夏季に集中していましたが、最近では秋や冬にも開催され新年へのカウントダウンにも花火の出番が多くなってきています。

花火のルーツは古く、紀元前3世紀の古代中国、火薬の基本となる硝石が発見されてからとされていますが、日本での歴史上の記録に残る花火の第1号は、それから約2000年後の天正17年（1589年）7月、伊達正宗が観賞したのが最初であるとも云われ、それに慶長18年（1613年）8月駿府で、徳川家康に、英国人ジョン・セリーヌが、同行の中国人の手で花火を見せたという記録もあります。

日本でのおもちゃ花火は、いつ頃から作られ売られたかはっきりとした記録はありませんが、万治2年（1659年）、大和の国（現・奈良県）から江戸へでてきた弥兵衛（初代鍵屋）が葦の管の中に火薬を入れた初歩的なおもちゃ花火を考案し売り出し、江戸庶民に爆発的な人気を得たと言われます。

当時江戸に興隆してきた町人文化に支えられてきた

花火人気は衰えることはありませんでした。江戸のほか、花火が相当盛んであった地方は、三河・近畿・信州・越後・九州と言われています。花火の人気と共に江戸幕府は花火の種類や火薬の量、使用場所や製造業者を指定したりして、安全対策を指示したようです。当時の江戸では、防火対策として広小路をもうけたり、川の両岸に火除地をつくって、今日という防火ベルトをもうけていました。明治のはじめ頃、西洋からの輸入により、塩素酸カリウムやストロンチウム、バリウムなどの彩色光剤を得て、日本花火の歴史上最大の躍進の時期を迎え、今日の世界一といわれる日本花火の基礎がつくられました。（出典：（社）日本煙火協会） ※浮世絵は《名所江戸百景 両国花火》歌川広重



「おもしろうて やがて寂しき 花火かな」作者不詳の川柳があります。

元の句は松尾芭蕉の「おもしろうて やがて寂しき 鶺鴒舟哉」という俳句だそうです。

職員紹介

「十五年を振り返って」

介護部統括主任 佐藤 亮

私が大磯幸寿苑に入職して十五年が経ちました。専門学校を卒業したばかりで素人同然だった私が、現在介護部の統括主任をさせて頂くようになるほど「大磯幸寿苑で働き始めて」長い時間が経ちましたが、振り返るととても短く感じます。たくさんの苦勞もあったと思いますが、ご利用者の笑顔や、「ありがとう」の一言で全てが良い思い出となっています。後も、ご利用者に喜んでもらっているか？お困りごとはないか？などを日々考え、ご利用者のご希望に沿った日々のお手伝いをさせていただきたいと思います。



看護師 中村直子

看護師として入所者の方との関わりの中で感謝の言葉を頂いたり、笑顔で接して頂くことが、やりがいや看護師になって良かったと思える瞬間が

あります。この幸寿苑に働き始めて、まだ3ヶ月という短い期間であり、老人保健施設で働くことも初めてなので、看護師の役割や他部署との連携の違い等を感じています。今までは病院での働きしか経験ないので、どのような時に看護師は動くのか、まだ把握しきれていない部分はありますが少しずつ全体の流れや状況を掴めるようにしたいと思います。



私自身、大磯の地に引越してきて1年位なので、まだ地域や環境になじめていませんが、幸寿苑に来た時の印象は明るくてスタッフはもちろんのこと、入所者の笑顔が印象的だったので入職しました。宜しくお願いします。

デイケア 中島恵里奈

自然の豊かさに感動し、初めてこちらへ見学に来た瞬間からここで介護の仕事をやってみたいと思っていました。幸寿苑のように緑が溢れ、非日常を感じさせるような自然環境の中でケアすることは、ご利用者にとっても、職員にとっても、リラックスして穏やかな時間を過ごすことができる最高の環境だと思っています。



介護の仕事に就き数ヶ月が経ちますが、未だにとまどいや手際の悪さで、ケアが行き届かず、多々落ち込むことがあります。そのような時はいつも、ご利用者の笑顔に助けられ、また、大きな心で受け止めて下さることに感謝の気持ちでいっぱいです。その分、恩返し of 気持ちも込め、ご利用者との大切な時間を大事に過ごしながらかケアを続けていたいと思っています。毎日一人一人のご利用者に向き合いながら、全力でケアにあたっている職員の方々には学ぶことが多いです。そして、いつも気を配っていただきご指導をして下さることに有難く、心強く思います。

フォトレポート



H29.8.14 (月) フロアコンサート

H29.8.15 (火) 華道



H29.8.19 (土) コンサート・ハワイアン・フラダンス



H29.8.30 フロアコンサート



お詫び

8月5日(土)に開催予定の「夏祭り」が、風邪の感染拡大予防のため中止となりました。

「夏祭り」は、ご利用者、ご家族、ボランティア、スタッフが楽しみにしている最大のイベントです。今後は、年間を通じ各種感染防止に努めて参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日予定していた花火を、9月15日(金)午後7時半に変更し打上する予定です。



フォトレポート

6月12日(月) フロアコンサート



6月17日(土) ピアノコンサート



6月26日(月) おやつバイキング



7月28日(金) さくらコーラス



8月14日(月)~18(金) デイケア納涼祭

